

本年度の重点目標

・「あいさつのできる子ども」、「人の心の痛みをわかる子ども」、「自ら行動できる子ども」の育成、クラス運営においても「子ども達自身が一人一人を大切に」、「友だちを大事にする集団づくり」を目指す。そのために、教師自らが率先してあいさつを行い、人権感覚を研ぎ澄ませておく。

・「落ち着いた学習環境」を中心に据え、真剣に学ぶ姿勢を養い、けじめある学校生活を身につけさせる。

・シラバスの有効利用により、生徒たちが目的意識を持って学習が進められるよう丁寧な教科ガイダンスをおこなう。

・子どもたちの自主活動の発展を目指す。生徒会主催による全体礼拝や広報活動を援助し、「自分たちの学校づくり」を応援すると同時に、リーダー層の育成をはかる。

領域	重点評価項目	総合評価	
		自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の教育方針や教育目標について理解が得られるような取り組みをしている。	A	A
	学校の教育方針や教育目標が実現できるよう、特色ある教育活動をしている。	A	A
2 学習指導	シラバスにそって、計画的でわかりやすい授業展開につとめている。	A	A
	指導力を高めるために、公開授業・研究授業・校内外の研修につとめている。	A	A
3 生活指導	基本的な生活習慣の確立や挨拶などの指導を行っている。	A	A
	生徒の規範意識を育む指導を行っている。	A	A
4 進路指導	生徒個々に応じた適切な進路指導につとめている。	A	A
	面談等で生徒の学力分析、興味・関心・適正に応じた進路選択ができるよう取り組んでいる。	A	A
5 特別活動等	生徒会活動を通じて自主自律の精神を育成すると共に生徒の自覚や連帯感を育てている。	A	A
	生徒会行事の意味やねらいを理解し、生徒の意識高揚につとめている。	B	A
6 学校図書館等	学校図書館を計画的に利用し生徒の学習活動の充実につとめている。	A	A
	図書館の情報を提供し、利用を促進するようつとめている。	A	A
7 保健指導	生徒の健康観察につとめるとともに、適切な対応をおこなっている。	B	A
	学校だより「地の塩」等を活用して健康安全に対する意識の向上につとめている。	A	A
8 人権教育	いのちを大切にする教育、豊かな心や人権が尊重されるクラスづくりや学校づくりにつとめている。	A	A
	いじめや暴力のない集団づくり、学校づくりにつとめている。	A	A
9 環境教育	生徒に環境について考えさせたり、リサイクル運動などの指導を行っている。	B	A
	清潔な環境づくりのため清掃活動につとめ、美化意識を向上するため努力している。	A	A
10 事務・管理	個人情報の保護や管理に注意を払い、文書管理等を適切に行っている。	A	A
	教育に関わる施設・設備の保全や学校環境の整備につとめている。	A	A
11 その他 学校の取り組み	教育活動をホームページや学校だより等を通してわかりやすく伝えている。	A	A
	保護者からの連絡や相談などに丁寧に対応するようつとめている。	A	A
	PTA活動等に積極的に取り組み、保護者が授業・行事などに参加できるようつとめている。	A	A

(注)・評価表の見方

12月 評価の実施(12月までの教育活動に対する評価)

3月 総合評価の公表(年間の教育活動に対する総合評価)ABCDの4段階評価で示す。

・評価者は教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による。(項目によりすべての評価者によらない場合がある)

・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

2015年度近江兄弟社中学校保護者アンケート集計(全学年)

